

登米市総合教育会議 会議録

会議の名称	第16回登米市総合教育会議	
開催日時	令和6年1月19日(金)	
	午後1時30分 開会	
	午後2時23分 閉会	
開催場所	登米市役所 3階 第4委員会室	
出席者 氏名	市長	熊谷 盛廣
	教育長	小野寺 文晃
	教育長職務代理者	畠山 信弘
	教育委員	小野寺 範子
	教育委員	大久保 芳彦
	教育委員	佐竹 美香
	教育委員	須藤 勝子
欠席者	なし	
傍聴者	なし	
事務局職員氏名	総務部長	阿部 桂一
	教育部長	小林 和仁
	教育部次長兼教育総務課長	阿部 信広
	教育部次長兼学校教育管理監	飯川 弘芳
	学校教育課長	猪股 勝徳
	生き生き学校支援室長	林 宏也
	教育支援センター所長	笠原 英康
	学校再編推進室長	津藤 順
	生涯学習課長	守屋 乃扶子
	文化財文化振興室長	菊地 武
書記	市長公室室長補佐	松井 満
	教育総務課課長補佐	千葉 敬子
議題	(1) 令和6年度教育行政の方向性について	

<p>議題・ 発言</p>	<p>(司会) 阿部次長兼教育総務課長</p> <p>熊谷市長</p> <p>(司会) 阿部次長兼教育総務課長</p> <p>(議長) 熊谷市長</p> <p>阿部次長兼教育総務課長</p> <p>(議長) 熊谷市長</p>	<p>定刻となりましたので、ただいまから、第16回登米市総合教育会議を開会します。開会時間は午後1時30分といたします。</p> <p>本会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第1項第1号で、教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた協議、学術及び文化の振興を図るために重点的に構すべき施策について、総合教育会議で協議や調整をすることとなっています。</p> <p>本日は、市長と教育委員会、両者の教育施策の方向性を共有するための会議であります。</p> <p>はじめに、市長から開会のご挨拶を申し上げます。</p> <p>本日は総合教育会議に出席をいただきまして誠にありがとうございます。本日の会議の議題は「令和6年度教育行政の方向性について」として、令和6年度登米市教育基本方針(案)及びアクションプラン(案)となっております。令和6年度の当初予算編成も最終段階となって来ました。限られた予算の中ではありますが、将来を担う子ども達の育ちや学びを支援するため、必要な事業に関しては予算をしっかりと確保し、教育環境を整えたいと考えております。</p> <p>教育振興では、ICTの積極的な活用による児童生徒に応じた学習支援、教職員の校務、家庭・学校とのコミュニケーションの効率化等を進める教育のDX化、コロナ禍以降増加傾向にある不登校やいじめの未然防止で学校と家庭、教育委員会が連携した取り組み、小中学校等再編構想に基づく学校再編の着実な推進、若い力を取り込み、継承を推進する地域伝承文化振興について重点的に取り組みたいと考えております。厳しい財政状況ではございますが、第二次登米市総合計画や第2期教育振興基本計画の着実な遂行のため、実施形態や手法を検討し、目指す姿に向かって、具体的な取り組み内容を考えているところでございます。</p> <p>本日は、教育基本方針及びアクションプランのより効果的な進め方等について、教育委員皆様方と議論を深められればと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、議事に入ります。議事の進行に当たりまして、熊谷市長に議長をお願いいたします。</p> <p>それでは、議題に沿って会議を進めます。</p> <p>「令和6年度教育行政の方向性について」を議題といたします。</p> <p>事務局から「令和6年度登米市教育基本方針(案)及びアクションプラン(案)」について、説明をお願いします。</p> <p>(資料1、資料2に基づき説明)</p> <p>ただいま、事務局から「令和6年度登米市教育基本方針(案)及びアクションプラン(案)」について説明がありました。委員の皆様</p>
-------------------	--	---

<p>議題・ 発言</p>	<p>島山委員</p>	<p>から、ご意見をお伺いいたします。 はじめに島山教育長職務代理者からお願いいたします。</p> <p>令和6年度の教育基本方針及びアクションプランを確認しまして、概ね理解した。改善に向かう意気込みを感じた。全体的な意見を2点述べたい。</p> <p>一つ目は、新型コロナウイルス感染症を経験し、これまでの反省と課題を把握分析して、令和5年度どう取り組んだかが問われる一年であった。危機管理能力は管理職・責任者に問われるの能力でもある。令和5年度は、社会教育事業はコロナ禍同様に積極的に取り組んでいる。学校教育はGIGAスクール構想によって、一人一台端末が整備されICTの積極的な活用、行事や諸活動の実施方法の見直しによる学校のスリム化がなされ、この変革はプラスと解釈している。開かれた学校の再開も見られるようになった。</p> <p>二つ目は、教育委員会の組織体としての取り組みの在り方に共通理解が必要であると考え。事業推進の担当を明確にして、その責任を全うする体制が必要不可欠である。学校であれば校長、公民館であれば館長。長が付くからには非常に大きな責任がある。それら組織の成果、課題を確認して、底上げをしながら、市民の負託に応えて行くべきと考える。</p> <p>令和4年度から実行された教育振興基本計画は、2年が経過。令和6年度に3年目を迎える。3つの基本目標と8つの施策の基本方向、年度毎の重点施策で構成され、アクションプランで具体化を図っている。PDCAサイクルを回し、点検・評価を確実に行うことが大事。新年度の改善で効果的・効率的な施策の展開を望む。</p> <p>また、図書館構想のとりまとめにあたっての職員の頑張りを評価したい。図書館整備の具現化に向けた努力を期待したい。</p>
	<p>小野寺委員</p>	<p>令和6年度の教育行政の方向性については、教育基本方針等これで良いと思う。</p> <p>施策の基本方向1-3「幼・小・中・高の連携と関係機関による情報の共有」に関する記述に、こども園が入っていない。こども園は幼稚園に含まれているそうだが、こども園に通わせている保護者が見ると、こども園は含まれていないと心配するのではないか。</p> <p>アクションプランで、けやき教室運営事業と心のケアハウス設置事業がある。市では、けやき教室とケアハウスを一体化して、愛称「さくらの木」としている。基本方針ではさくらの木と記載しており、やわらかい名称で児童生徒、親御さんにも浸透していることから、アクションプランでも愛称で記載してはどうか。</p> <p>放課後子ども教室事業は、実施形態を変え、毎日開催から単発開催になった。予算も大変かと思うが、子ども達の居場所づくりを継続して欲しい。</p> <p>部活動の地域移行への取り組みは、早急に進めていただきたい。</p> <p>昨年度も申し上げたが、アクションプランの社会教育施設整備事業のスケートボード場整備について、オリンピック競技になり、市外でも施設が増えている。スケートボード場が出来れば、市外から若者が訪れ活性化になる。是非実現していただきたい。</p>

<p>議題・ 発言</p>	<p>大久保委員</p> <p>佐竹委員</p> <p>須藤委員</p>	<p>地域伝承文化振興事業は、担い手の育成で地域の保存団体の年長者から教わることになり、世代間交流やシニア層の生きがいとなり、相乗効果が生まれる。生涯学習にもつながるのでどんどん取り組んでいただきたい。</p> <p>教育基本方針案は、喫緊の課題に対応する内容になっている。特に不登校やいじめについては、引き続き取り組んでいただきたい。また、部活動の地域移行を重点事項としている。令和5年度から進めているが、令和6年度には、よりしっかりした内容に仕上げたい。</p> <p>アクションプランで、志教育のキャリアセミナー事業の体系づけを見直され、矛盾のない形に整理された。</p> <p>令和6年度の基本方針については、基本的に賛成である。</p> <p>教育基本方針案に関して、令和5年度からさらに内容が見直され、新たに加えられた事項や具体的に示された事項があり、これを基に進めていただきたい。今後も変わって行くであろう点について、意見を述べたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症を経て、教育の現場は大きく変わっている。特にICT教育が急速に加速したので、先生方や家庭がその変化に追いついていないのが現状。また、多様性を重視する社会にどんどん変化しており、家庭での教育への考え方も変わって来ている。選択肢が増えることにより、教育のあるべき姿がかなり変わって来ている。子ども達は、携帯やタブレットを日常的に使い、膨大な情報に触れているが、その情報の良し悪しの選択ができない。先生方、保護者、地域が一緒になって考え、人間性や倫理観を子ども達に示していかなければならないと思う。</p> <p>多様性が重要視され、インクルーシブ教育が出て来ている。この教育は、言葉で説明しただけで出来るものではないので、日々の関わりの中で身につけ理解していけるよう幼児教育に期待したい。</p> <p>部活動の地域移行は、これから具体的な話になると思うが、子ども達が安全で、十分な指導環境の中で活動できることを願っている。今後、学校や指導者との関わりで問題が出て来るかと思うが、連携して、先生方の負担が増えないようにして欲しい。</p> <p>災害は忘れた頃に起こる。学校は災害時には避難所の役割がある。日頃の環境整備や点検を行って欲しい。</p> <p>地域伝承文化は、登米市のたくさんの良い文化を、是非若い世代に知って欲しい。ボランティア活動を教育資料館で行ったところ、参加された保護者が初めて訪れたと話しており、子ども達も楽しそうにしていた。文化財等地域にあるものを使っていくことで、地域を知るきっかけづくりをして欲しいと思っている。</p> <p>4点お話ししたい。1点目は、不登校の問題。不登校の児童生徒が昨年度から増えている。学校や関係職員のお陰もあり、さくらの木を利用している子どもがいる一方で、100名が学校や教育委員会とつながっていないのが現状。居場所づくりに関して、より具体的に提示できないか。教育委員会でも様々な体験学習の機会を設けて</p>
-------------------	--------------------------------------	---

いるが、市内の様々な能力を持つシニアの力を借り、様々な体験を支援する支援ボランティアを広げてはどうか。

2点目は、教育支援センターの運営で、教員の能力向上の取り組みに感謝している。教員の力が伸びれば、子ども達の学力も向上する。ICTの活用では、研究員に選ばれた教員だけでなく、一般の教員の底上げをして欲しい。指導主事等が各学校に出向き、学校内で研修を行うことで、学校全体の底上げが図られるのではないか。個々の教員のやる気に任せるのではなく、教員全員に授業の改善の機会を検討願いたい。

3点目は、図書館である。図書館は、市民の興味関心が高い。熱気と機運が高まっている時に、どんどん進めて行ければ良い。

4点目は、文化財保護関係。アクションプランで登米尋常小学校の耐震工事が予算化されている。バルコニーに立った時にガムテープが見えたり、表示板が壊れていたり残念な状態であるので、お客さんの訪問に堪えられる設えを望む。

また、登米市の伝統文化の伝承率は、全国的にも高い方なのではないかと思っている。伝承文化が地域に残っていることは素晴らしい事。しかし、少子高齢化で継承する人が少なくなっている現状で、学校や教育委員会がどう支援するか。継承団体の情報交換をさかんにして、良いアイデアが出てくれれば良いと思う。

(議長)
熊谷市長

ありがとうございました。委員から意見をいただき、教育基本方針については、概ね理解、了承いただいたと理解している。

畠山委員からお話のあったコロナ禍以降の学校のスリム化が、良い方向へ作用している。不登校は大きな課題である。PDCAしっかり取り組んでいく。

小野寺委員からのお話いただいた点、教育委員会からの説明でご理解いただいたと理解している。スケートボード場はだいぶ準備が進んで来ている。できるだけ早く完成させたいと思っている。長年の懸案であり、多くの若い人達が期待している。ご指摘ご指導をいただきたい。地域伝承文化に関しては、世代間の交流やシニア層の生きがいづくりとなり相乗効果が期待できると考えている。

大久保委員からも、案通りと賛同いただいた。行きたくなる学校づくりのための居心地の良い学級づくりについて、また、キャリア教育についてもしっかり進めて欲しいと意見をいただいた。

佐竹委員からも、賛同いただいた。ICT教育については、地域や学校、家庭がそれに追いついて行けてないのではとご指摘いただいた。しっかり支援できる体制を作らなければならないと感じた。部活動の地域移行はまだまだ手探りであり、今後も教育委員各位から様々な提言をいただきたい。防災教育は、地域子ども達が防災に対する考えを持つこと、意識づけが大事である。将来の地域の防災人材につなげていきたい。地域伝承文化は、一旦途絶えると復活が難しい。継続して続けていく。

須藤委員からは不登校児童生徒についてお話があった。家庭から出られない子どもを、シニアOBで支援するような体制づくりについて提言いただいた。教育支援センターの運営では、登米市の教員の能力向上が必要。しっかり取り組んでいく。登米尋常小学校の件

<p>小野寺教育長</p>	<p>は、市外からの観光客に堂々と自慢できるような文化財に、文化庁と協議しながら修復に取り組みたい。</p> <p>お褒めいただいた点は、更に良くするように、ご指摘いただいた部分はしっかり噛み砕き努力して参りたい。特に、不登校についてご意見いただいた。コロナ禍で、リモート授業の普及により学校へ行く意味が変化しており心配している。学校の本来的な意味は、ただ学ぶだけではなく、人と人との関わりやコミュニケーション能力、対人関係調整能力等を育てていくものと思っている。どうしたって人は一人で生きて行けないので、その点をしっかりとらまえながら、きめ細やかな対応、指導をして参りたい。</p> <p>部活動の地域移行でもご心配をいただいている。子ども達の活動の場をどう担保するか。活動できる環境を作って行く一つの方法として、地域移行があると捉えている。ぶれずに進めて行きたい。お気づきの点がありましたら引き続きご指導をお願いしたい。</p>
<p>畠山委員</p>	<p>内容については、賛同している。方法について提案させてほしい。一つ目は、最大限成果が上がるような方策の工夫。人材をフルに生かし知恵を出し合い成果を上げ、市民の負託に応えられるような方策を考え実行して欲しい。</p> <p>二つ目は、教育委員として話せる情報として、各課室等事業の進捗状況等について情報提供いただきたい。</p>
<p>(議長) 熊谷市長</p>	<p>教育委員のそれぞれから方針及びアクションプランに関しては賛成である。ただし、2点についてご意見があった。一つは、計画の成果をしっかりと上げて欲しい。二つ目は、細やかな情報提供。事務方でこの辺しっかりお願いしたい。</p> <p>議題については、只今協議した内容で整理し、必要に応じて、教育委員会議で教育委員の皆様を確認いただくようお願いいたします。協議については、これで終了とします。</p> <p>進行を司会に戻します。</p>
<p>(司会) 阿部次長</p>	<p>その他といたしまして、事務局では特にありませんが、委員の皆様から何かございますでしょうか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
<p>(司会) 阿部次長</p>	<p>それでは、以上をもちまして、第16回登米市総合教育会議を終了とさせていただきます。</p> <p>閉会時間は午後2時23分といたします。</p> <p>お疲れ様でした。</p> <p>(午後2時23分、閉会)</p>